



小中一貫教育だより

平成29年3月22日 No.36
(小中一貫教育推進だよりから 通算No.70)
十日町市教育委員会学校教育課



小中一貫した考え方が、子どもたちを伸ばす

子育て教育部学校教育課長 川崎 正男

先日、うれしい話を聞きました。(少し脚色していますので、ご了承ください)

1日入学で小学校1年生の教室に入った年長の子どものお話です。A君とします。1日入学で小学校の教室を訪れたA君を含めた年長さんたちに、1年担任がある問題を出しました。そして、分かったら答えるように促しました。A君は、「はい」と元気よく手を挙げました。指名をされたA君は、黒板の前に出ました。

ところが、……。A君は、黒板の前で固まってしまいました。母親もその場に居合わせ、その様子を見ていました。お母さんはきっとどぎまぎされていたことと思います。皆さん、A君はその後どうなったと思いますか？驚くことにA君は教室にいた1年生から、こんな言葉をかけられたというのです。

「失敗したっていいんだよ！」

この言葉を聞いたA君の表情がみるみる変わり、明るさをとりもどしていったのです。勉強になったのは、A君だけではなくでした。

とてもうれしい話ですね。1年生が育っている、と思いました。学級経営をされている担任の先生の力量が子どもの姿で表れている、と感じました。

この話を聞いて思い出したある講演がありました。

「すべての子どもの学びと育ちを保障する授業づくり」と題した岡山大学教育学部の佐藤暁教授の講演(平成21年1月)です。こんな内容でした。

4歳児のMさんは、入園して間もないということもあってか、グループの中になかなか入ることができませんでした。Mさんは、「私のこともかまってよ」と言わんばかりに、グループの中に自分の体を寝ながらくねくねと入れてきました。小学校でも時々見ることもできるこんな状況の時、皆さんだったらどんな対応をされるでしょうか。

一般的にはMさんに近づき、ふざけているように見えるMさんの体を起こして「そんな行儀の悪いことをしてはいけませんよ」と注意するのではないのでしょうか。ところが、この教室での指導者は、「一人一人、聞いてあげてね」と言ったといいます。その結果、Mさんは体を起こし、グループの中に入っていました。

佐藤教授は、この幼稚園の実践と、ここでは紹介することができませんが小学校の3・4年複式学級での国語の授業をもとに、次のようにまとめました。

他の子どもとつなぐことで、Mさんは変容したのです。教師の働きかけは、直接気になる子どもにするのではなくて、ほかの子どもとつなぐことが大切です。他の子どもとつながり、成功体験を繰り返す中で、人を信じる力も育っていきます。

更に佐藤教授は、こう話されました。

「つなぐのは、子どもだけではなく、授業で異校種もつなぐ必要があります。周りの子どもと関わりながら、よかったという体験を、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校と授業の中でつなぐことで、人を信じる力が育つのです。」

A君を支えた小学校1年生の子どもたち、子ども同士のつながりを育もうとする指導者の適切な指導。こうした子ども同士のつながりを小学校、中学校で大切に育て、さらに、保育園・認定こども園、高等学校とそのつながりをひろげていきたいものです。

学力向上で成果が出ている十日町市の教育ですが、今後学力向上とともに不登校児童生徒の減少、特別支援教育の充実に皆さんの力をこれまで以上に結集させていただきたいと強く念じています。

■統括コーディネーターとして（No.2）

先号に引き続き、平成28年度の各中学校区の小中一貫教育をリーダーとして推進してくださいました統括コーディネーターの皆様から、1年を振り返っての成果や課題を語っていただきました。今号は、南、吉田、中里、松代、松之山の5中学校区を掲載いたします。

まつのやま学園開校に向けた取組

松之山中学校区統括コーディネーター 野島 聡子



「ふるさと松之山を愛し、豊かななかかわり合いの中で自分に自信をもって成長する子ども」を目指して、フットワーク軽く小中一貫教育に取り組んできました。生活科、総合的な学習の時間を「松之山タイム」と名付け、ふるさと学習の実践に取り組みました。小学校も中学校も松之山タイムの授業を公開し合い、指導案検討、授業についての協議会などを年間に渡って行いました。その取組を9年間の系統性を考慮した「松之山タイムで育

てたい資質・能力・活動内容一覧」として作成できたことは、大きな成果でした。9年間を見通した学びを意識し指導計画を作成してきた過程を生かし、今後は、英語教育の指導計画の作成に取り組んでいく予定です。

また、今年度は、「まつのやま学園」開校に向けて、小中一貫の教育課程についても検討を重ねてきました。4月には、小学校と中学校の職員が一つの職員室で仕事を進めます。小学校籍・中学校籍の職員が普段から気軽にコミュニケーションをとりやすく、授業の打ち合わせや子どもたちの様子について話しやすくなるのではないかと、今から期待しています。「子どもたちの9年間で全員で協力し、育てる」という意識から協調性も高まり、協働して教育活動に取り組めるのではないかと考えています。



「健やかに」「しなやかに」「確かに」生きる子供たち

松代中学校区統括コーディネーター 太島 誠



小中一貫教育本格実施3年目を経過し、学校と地域、または外部機関（組織）とのさらなる密接なつながりが必要となってきた。

当中学校区では、学校と地域、子供たちと地域が互いに協力・支援する活動がいくつかある。例えば7月に開催される松代観音まつりでは、保育園児の稚児行列、松代小学校のマーチングバンド、松代中学校全校生徒で行う農耕歴史行列、吹奏楽部や地元の小・中・高校生有志による松茸太鼓の演奏が

祭りを盛り上げる。また、松代早稲田協力会が主催する夏季休業中の学習塾や3月の松代冬の陣などの活動は、子供たちに様々な経験や体験の場を与えてくれる。

これらの活動には、地域の活性化を子供たちの活動で図るとともに、将来を担う子供たちを育てようとする意図を強く感じている。また、今後の小中一貫教育を推進する上で大きな原動力になる。松代中学校区の小中一貫教育はこれらの思いを受けて、地域とともに保・小・中・高校が学校の枠を越えて連携・協働し、推進していくことが重要である。

目の前にいる子供たちを当中学校区が一体となって、急激な社会的変化や予測不可能な未来を「健やかに」「しなやかに」「確かに」生き抜く人間に育てていきたい。



新たなる「チャレンジ」に向けて

中里中学校区統括コーディネーター 川尻 優



平成26年度に、3か年計画で作成した当地区の小中一貫教育の指針「チャレンジⅠ」の取組は今年度が最終年でした。これまで、小中4校の職員が気軽に声を掛け合える「チーム中里」の良さを生かしながら、校種を越えた支援体制の構築や保護者・地域との連携を推進してきました。一方で、取組のマンネリ化や、新たなメディアの問題が浮き彫りになるなど、「チャレンジⅡ」が始まる次年度以降の課題にも直面しました。中里中学校区では、小中一貫教育を推進していく上で、新たなる「チャレンジ」が求められているのです。今年度は、新たなる「チャレンジ」に向け、次の3点の取組を工夫しました。

まず、保小中の連携の一層の強化です。新たに、年長児と低学年児童が合同で体力作り教室を実施したり、情報交換の機会を増やしたりして、保育園との交流が深まりました。次に、保健班では、生活習慣の定着を図るための「チャレンジウィーク」を刷新し、『眠育』を実施しました。園児・児童・生徒の睡眠の実態が明らかとなり、次年度以降の取組の準備を進めることができました。更に、倉俣小と田沢小は、円滑な統合を目指し、協力し合って、年間4回の交流授業を実施しました。

これらの取組を更に進化させるための「チャレンジⅡ」が始まろうとしています。中里地区の児童生徒の未来のために、「チーム中里」の絆をより一層深め、3校職員一丸となって力強くチャレンジします。



南中学校区の取組の二本柱



南中学校区統括コーディネーター 佐藤 孝幸

南中学校区では、目指す子どもの姿を『十日町市を愛し、夢や希望をもって自分自身を高める子ども』と設定し、「学習意欲の向上と基礎・基本の定着」と「認め合い支え合う人間関係づくり」を取組の重点（二本柱）としています。また、その二本柱を支える土台として、「生活習慣の確立」を目指して取り組んでいます。

重点の一つ、「学習意欲の向上と基礎・基本の定着」に向けて、今年度はこれまでの「学びの約束3か条（授業準備、話の聞き方、挨拶・返事）」に「家庭学習にしっかり取り組む」を加えて「学びのやくそく」と改めました。小中共通で学年×10分を家庭学習時間の目安として、課題提示の工夫や自学の仕方などを具体的に指導した結果、以前に比べ、家庭学習がより習慣化されてきました。

重点のもう一つ、「認め合い支え合う人間関係づくり」の構築に向けて、これまでの5、6年生同士の交流や6年生と中学生の交流に加え、今年度初めて中学生が小学校に出向いて挨拶運動を実施しました。中学生が率先して声掛けをすることで、小学生の挨拶への意識を高めることができました。また、小中合同の「情報モラル講演会」を実施し、小中の職員・保護者で情報の共有化を図りました。さらに、同じ講師による小・中学生を対象とした講演会も各学校で行い、親子での情報共有も図ることができました。

今後も、こうした小中一貫教育を生かした取組を継続していきます。



継続こそ力なり

吉田中学校区統括コーディネーター 小林 和之



吉田中学校区では、今年度も『自己実現のための学力の伸長』、『人間関係力の育成』をねらいとして、【知、体、徳】の3つの部会を組織し、小中一貫教育に取り組んできました。今年度は新たに「吉田の教師10か条」のリーフレットを作成し、教職員全員で常時携帯し共通実践を図りました。また、「パワーアップウィーク」においては、今まで小中のみの実践であったものに保育園との連携を進めることもできました。さらに昨年度より取り組んでいる「インターネット使用点検表」による家庭におけるメディアコントロールも少しずつ成果が上がってきています。

年間を通じてたくさんの事業があり、それを中学校区の職員が英知を結集して毎年レベルアップを図りながら実践を積み重ねて継続していくことが、結果として不登校の減少や、学力向上に繋がっています。

今後も、自分や学校、地域に誇りと愛着をもって活躍してくれる“吉田の子”の育成のために、吉田の小中一貫教育を一層推進していきます。



■中学校区の取組（3月～4月）

中学校区名	平成29年3月の予定	平成29年4月の予定
拡大中学校区 	■ 新入生小中引継会 ・ 3月8日（水）十日町中―十日町小 ・ 中条中―中条小 ・ 中条中―飛一小 ・ 3月9日（木）十日町中―東小 ・ 中条中―東小 ・ 3月下旬 コーディネーター引継会	☐ 4月21日（金）小中情報交換会 ・ 1年生の授業参観、新入生情報交換 ☐ 4月26日（水）第1回推進会議 ・ 各校校長、教頭、コーディネーター、各部門幹事参加
南 中学校区	■ 3月10日（金）南中学区小中連絡会 ■ 3月10日（金）小中養護教諭連絡会 ■ 3月13日（月）学区教職員協議会教育推進会議 校長、教頭、コーディネーターによる次年度の活動計画の確認 ■ 3月中 学区一貫だよりの発行	☐ 4月28日（金）学区教職員協議会教育推進会議 15:00～南中
吉田中学校区	■ 3月16日（木）新入生引継会 児童；入学の心構え、入学式指導担任；引継連絡会	☐ 4月中「吉田の家庭学習5か条」による指導 ☐ 4月中「インターネット使用点検表」の記入と活用
下条中学校区 	■ 3月9日（木）中学校体験入学 ■ 3月9日（木）園小中代表者連絡会 ■ 3月16日（木）新入学小中引継会 ■ 3月27日（月）～小中交流活動担当者打合せ ■ 3月28日（火）、29日（水） 小学校6年生希望者中学校部活動体験	☐ 詳細はまだ未定

水沢中学校区	■ 3月14日（火）水沢地区教頭・教務主任合同会 今年度の振り返りと来年度の小中一貫教育の具体的な取組や動きについて検討	□ 4月21日（金）水沢中学校区教職員協議会役員会 ・平成29年度の小中一貫教育の取組を含めた全体の動きの決定
川西中学校区	■ 小中連絡会（6年生の学級編成等） 3月7日（火）上野小―川西中 3月8日（水）橘 小―川西中 3月9日（木）千手小―川西中 ■ 3月9日（木）1日異校種体験研修 川西中 横山教諭→千手小学校 体育、道徳の授業実践 ■ 3月9日（木）乗り入れ授業の実施 川西中 森田教諭→上野小 ■ 3月14日（火）学級編成会議 小6担任―中学校 引き継ぎ等の確認（川西中） 	□ 平成29年度の小中一貫教育推進についての協議 詳細は未定
中里中学校区	■ 3月2日（木）倉俣小PTA懇談会 田沢小教頭・事務職員が参加し、学校説明を実施 ■ 3月9日（木）中里中学校職員による貝野小6年生授業参観、6年生引継会 ■ 3月9日（木）田沢小6年生引継会① ■ 3月10日（金）中里中職員による田沢小6年生授業参観、引継会② ■ 3月14日（火）中里中学校区校長教頭合同会議 ■ 3月15日（水）中里中職員による倉俣小6年生授業参観、6年生引継会 ■ 3月28日（火）倉俣小移転作業  （次年度への話し合い）	□ 4月12日（水）第1回中里地区小中一貫教育推進部会 □ 4月中 小中一貫教育各班会議
松代中学校区	■ 3月2日（木）松代中学校区小中一貫教育だよりの発行 ■ 3月7日（火）コーディネーター連絡会 ■ 3月9日（木）松代小中引継連絡会 ■ 3月14日（火）地区校長・教頭会 	□ 4月12日（水）松代地区小・中学校校長・教頭会 □ 4月 松代小中学校後援会代議員会（期日未定）
松之山中学校区	■ 小中一貫準備会議（検討会） ・6日；学びづくり ・7日；自治活動 ・8日；部活動、課外活動、体づくり、事務部 ・9日；生活・生徒指導の大綱、安全教育 ・10日；保健関係、弁当の日 ・13日；特別支援教育 ■ 3月27日（月）～29日（水） 中学校校舎移転、小学校職員室移転 ■ 3月30日（木）新校舎で小中職員と一緒に勤務開始  【小中学生の交流校】	□ 4月3日（月）まつのやま学園経営方針 □ 4月4日（火）～6日（木） 各種会議、児童生徒理解会議 □ 4月7日（金）新任式、始業オリエンテーション、学園説明、校舎見学（避難経路の確認等） □ 4月10日（月）まつのやま学園入学式（小中合同） □ 4月13日（木）児童・生徒会オリエンテーション（5～9年）

■ 平成29年度4月当初の小中一貫教育研修予定

4月 5日（水）新任転任教職員研修（1）

4月13日（木）新任転任教職員研修（2）

4月19日（水）コーディネーター・統括コーディネーター研修会

情報館

情報館

千手中央コミュニティセンター